



横浜はフルーツ王国だった？

～近代横浜のくだもの生産～

ゲスト / ^{ももせ}百瀬 ^{としお}敏夫氏（横浜市史資料室調査研究員）

明治時代から昭和戦前期において、神奈川県では果物が盛んに生産され、横浜の綱島地区で生産された桃は「綱島桃」として全国的にも有名でした。桃の歴史、桃で栄えた綱島、横浜の農業、横浜の文学をキーワードに、桃と横浜のつながりを知るための資料をご紹介します。

桃 ものと人間の文化史

有岡利幸 / 著 法政大学出版局 2012 書誌番号 3-0212002524 ISBN 978-4-588-21571-1

桃は約 6000 年前の縄文時代に中国から渡来した樹木です。今では食用が主ですが、初めは薬用として用いられていたそうです。桃の呪力、三月三日の桃の節句、近世の桃の種類、観賞用としての桃、薬用としての桃、全国各地に伝わる桃太郎話や桃源郷の伝説、明治時代に外国の桃が入ってきて品種改良が行なわれたことなど、桃にまつわる話が満載の本です。

わが町の昔と今 第 8 巻 港北区続編

岩田忠利 / 著 とうよこ沿線編集室 2004 書誌番号 3-0204037687 ISBN 4-9901324-4-0

タウン誌「とうよこ沿線」創刊 20 周年記念として出版された写真集です。東横線沿線の町並みを昔と今の写真でたどります。第 8 巻は港北区続編で、地元住民が撮影した写真も多く、なにげなく撮ったスナップ写真が貴重な資料となっています。昔の港北区を知る人にはとても懐かしい風景でしょう。p.27～44 の綱島駅地区では、「温泉と桃で栄えた昭和初期」の綱島の様子がよくわかります。

食べる。横浜 横浜の地産地消ガイドブック

『食べる。横浜』制作委員会 / 編著 神奈川新聞社 2012 書誌番号 3-0212027716 ISBN 978-4-87645-485-3

綱島の桃のようにかつては全国的な知名度を誇りながらも、現在では希少となったものもあります。その一方、今も横浜ではその豊かな大地を活かし、さまざまな作物が生産されています。本書は、そんな横浜の“農業の今”を知るのに最適な 1 冊です。掲載されているのは、農家や直売所、地産地消の食材にこだわりをもつ飲食店など多岐にわたり、横浜産畜農産物の生産から販売・消費まで、幅広い情報が取り上げられています。各区の直売所や、収穫体験ができる農園など、実用情報も豊富に掲載されています。

食味歳時記 中公文庫

獅子文六 / 著 中央公論社 1997 書誌番号 3-0197067600 ISBN 4-12-202971-6

横浜生まれの作家・獅子文六は食への探求心が深く、食に関する随筆を数多く執筆しています。本書では、横浜や東京、戦時中に疎開していた四国、留学先のフランスなど、著者がさまざまな土地で過ごした日々とともに、四季折々の料理や食材について語っています。果物を題材とした話も収録され、「桃」(p.212～213)では、若い頃に食した岡山の桃の味がつづられています。

果物が登場する文学作品を紹介した『果物の文学誌』（塚谷裕一 / 著 朝日新聞社 1995）とあわせて、果物と文学の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。

「都市横浜の記憶」から見る

綱島の桃

横浜市立図書館デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/yokohama.html>

横浜市中心図書館がこれまで蓄積してきた活字資料、絵図、絵葉書などのデジタル画像を、キーワードや年表から検索できるデータベースです。平成17年4月から一般公開を開始しました。

都市横浜の記憶装置として、さまざまな資料から横浜の変遷や成長過程を浮き彫りにします。ぜひご利用ください。

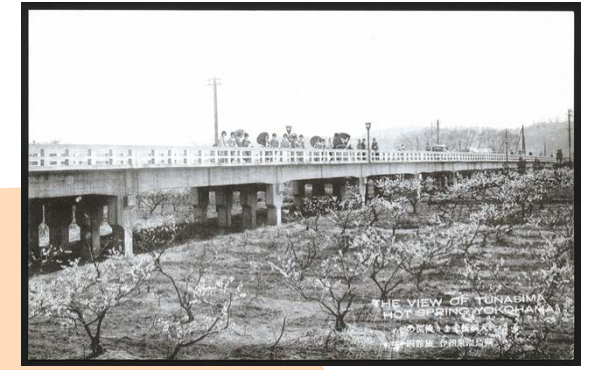
※ここで紹介した画像は「都市横浜の記憶」で閲覧することができます。



神奈川県観光地帯 綱島温泉

大正3（1914）年、綱島で源泉が見つかり、多くの温泉旅館が建てられました。大正15（1926）には東京横浜電鉄（現：東急東横線）が開通し、「綱島温泉駅」が開業。綱島温泉街は一層の賑わいを見せました。

綱島温泉の絵葉書から、桃の花が満開だった頃の綱島地区の様子が分かります。当時の華やかな風景をお楽しみください。

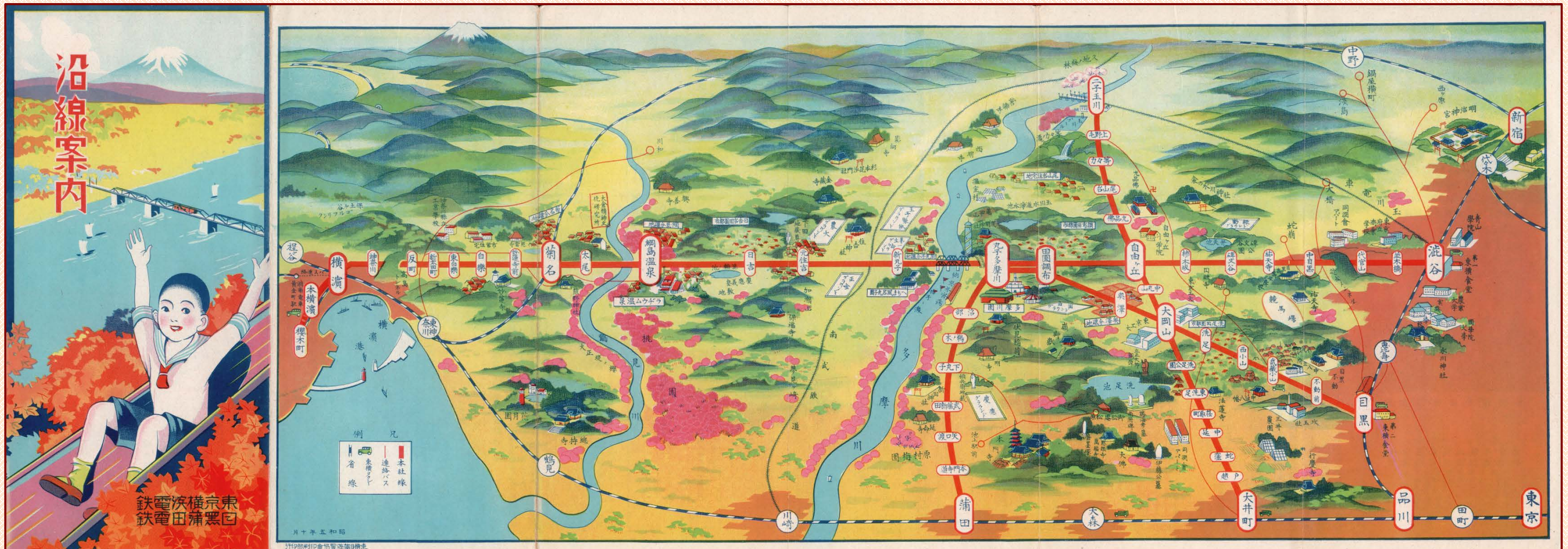


THE VIEW OF TUNASHIMA HOT SPRING YOKOHAMA
大綱橋上より桃園の眺め 綱島温泉組合 旅館四十三軒



THE VIEW OF TUNASHIMA HOT SPRING YOKOHAMA
桃花満開の綱島温泉 綱島温泉組合 旅館四十三軒

「沿線案内」 東京横浜電鉄・目黒蒲田電鉄 / 編 1930



ゲストの推薦図書

ゲスト著作

「桃産地形成と園芸組合—綱島果樹園芸組合を事例として」百瀬敏夫

掲載図書：横浜近郊の近代史 橘樹郡にみる都市化・工業化 p.161～190

横浜近代史研究会／編 日本経済評論社 2002 書誌番号 3-0202044095

「大正・昭和初期、副業的モモ生産農家の一事例—港北区綱島地区における事例—」百瀬敏夫

掲載図書：横浜市史資料室紀要 第3号 p.129～151

横浜市ふるさと歴史財団近現代歴史資料課市史資料室担当／編 横浜市史資料室 2013 書誌番号 3-0500048489

本日のお話を深く知るためのブックリスト

神奈川県柑橘史 神奈川県柑橘農業協同組合連合会 1974 書誌番号 3-0190071338

神奈川県園芸発達史 富樫常治／著 養賢堂 1943 書誌番号 3-0190522343

港北区史 港北区郷土史編さん刊行委員会／編 港北区郷土史編さん刊行委員会 1986 書誌番号 3-0190257559

港北百話 古老の話から 「古老を囲んで港北を語る」編集委員会／編 港北区老人クラブ連合会 1976 書誌番号 3-0190044139

横浜市農政概要 昭和14年版 (横浜市史II資料編 第2巻 付録) 横浜市総務局市史編集室／編 横浜市 1990
書誌番号 3-0190364028)

日本果物史年表 梶浦一郎／著 養賢堂 2008 書誌番号 3-0208058733

バナナと日本人 フィリピン農園と食卓のあいだ 岩波新書 鶴見良行／著 岩波書店 1982 書誌番号 3-0190064578

バナナ輸入沿革史 高木一也／著 日本バナナ輸入組合 1967 書誌番号 3-0190070912

続・バナナ輸入沿革史 高木一也／著 日本バナナ輸入組合 1975 書誌番号 3-0190070911

横浜市史資料室（中央図書館地下1階）のご案内



<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/>

横浜市に関する、関東大震災の復興期から現代までの資料を所蔵・収集・公開しています。どうぞご利用ください。

開室時間／午前9時30分～午後5時

書庫内資料閲覧申請受付時間／午前9時30分～午後4時30分

休室日／中央図書館の休館日と同じ

問合せ先／電話 045 (251) 3260

FAX 045 (251) 7321

Eメール so-sisiry@city.yokohama.jp

横浜市中心図書館調査資料課

中央図書館では、みなさまの調査研究・問題解決のお手伝いをしています。

お気軽に各階カウンター・電話・Eメールにてお問い合わせください。

所在地／横浜市西区老松町1 代表電話／045(262)0050

レファレンス (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/chosa/referance.html>)

